ONKYO

INTEC
COMPONENT WORLD

コンパクトディスクプレーヤー

C-701A
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

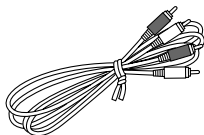
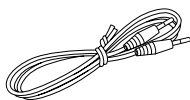
目　次

特長

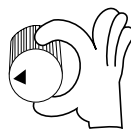
■155mm幅のきわめてコンパクトな単品シリーズ
■MDデッキ、CDレコーダー両方に同時接続可能な2系統光デジタル出力
■MDデッキ、CDレコーダーとのDLA Link機能
■リニアシングルビットD/Aコンバーター搭載

付属品

■ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
(　)内の数字は数量を表わしています。

●オーディオ用ピンコード（1）

●RIケーブル（1）

●取扱説明書（本書1）
●保証書（1）

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
  次の点に気を付けてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、機器の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

● 本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー・電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜き、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

■ 使用上の注意

指をはさまれないように注意

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力傷害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。
  磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

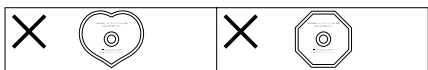
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

CDについてのご注意

■演奏上のご注意

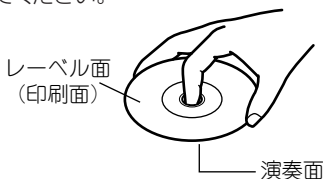
ご使用になるCD(コンパクトディスク)はディスクレーベル面(印刷面)に右記のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

パソコン用のCD—ROMなど音楽用ではないディスクは使用しないでください。異音の発生などで、スピーカーやアンプの故障の原因となります。

CDケースまたはディスクに右記のマークが付いているディスクで録音されたものは再生できない場合があります。

■8cm用CDアダプターは使用しないでください

■取り扱いについて

演奏面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

■レンタルCDの注意について

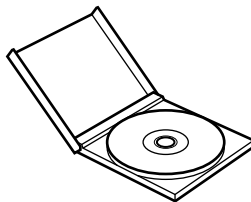
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

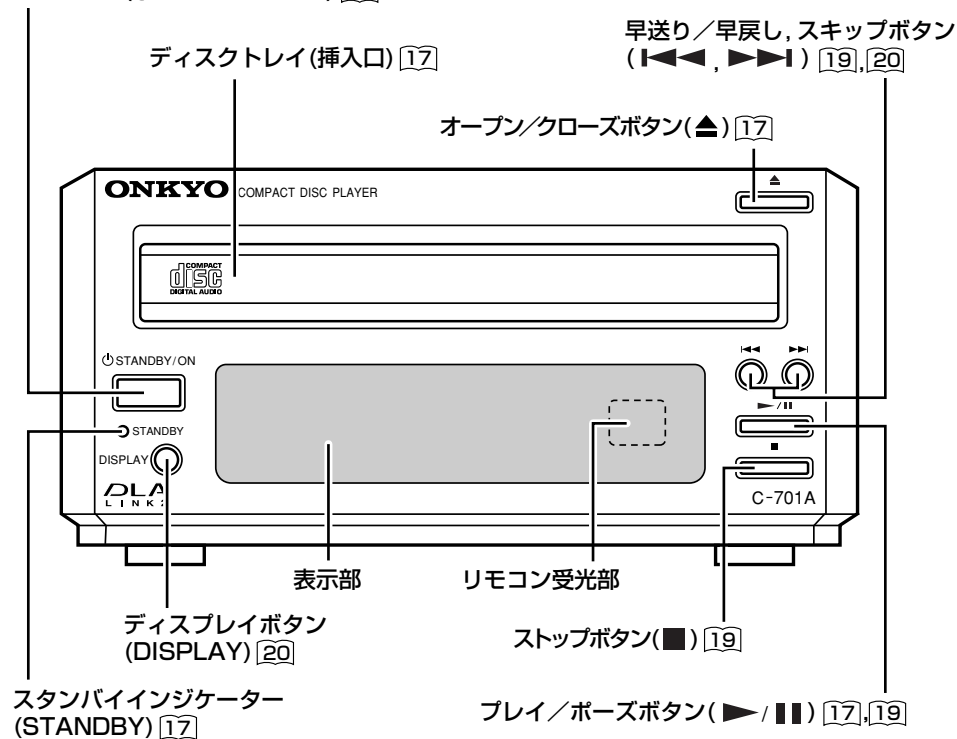
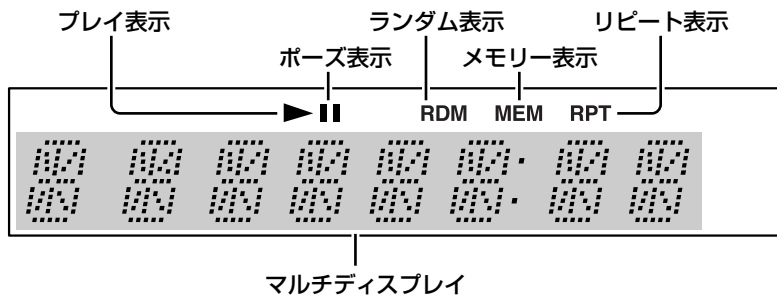
■保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、CDや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1〜2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、CDを取り出しておくことをおすすめします。

各部の名称

□表示は詳しい説明のあるページです。

■前面パネル

■表示部

リモコンについて

本機にリモコンは付属していませんが、INTEC155シリーズのR-801A(チューナーアンプ)に付属のリモコンRC-466Sまたは、別売のCD専用リモコンRC-289Cを使って本機を操作することができます。

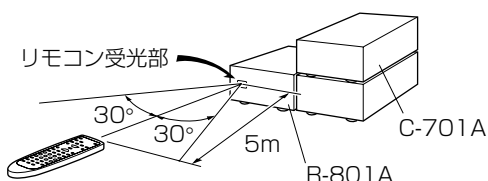
■R-801Aに付属のリモコン(RC-466S)で本機を操作

- 本機を操作できる各ボタンについては、12ページをご覧ください。
- 詳細についてはR-801Aの取扱説明書をご覧ください。

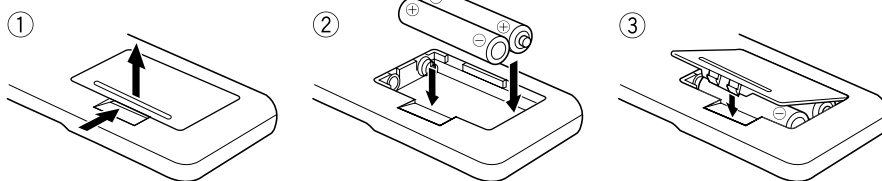
ご注意

RI（リモート）端子の接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとシステムとしての操作ができません。また、R-801Aのタイマー機能を使用することもできません。

リモコンの使い方

リモコンをR-801A（チューナーアンプ）のリモコン受光部に向けて操作してください。

■別売のCD専用リモコン(RC-289C)で本機を操作

- 本機を操作できる各ボタンについては、12ページをご覧ください。

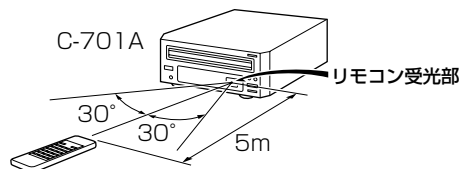
乾電池の入れ方と交換の仕方

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

ご注意

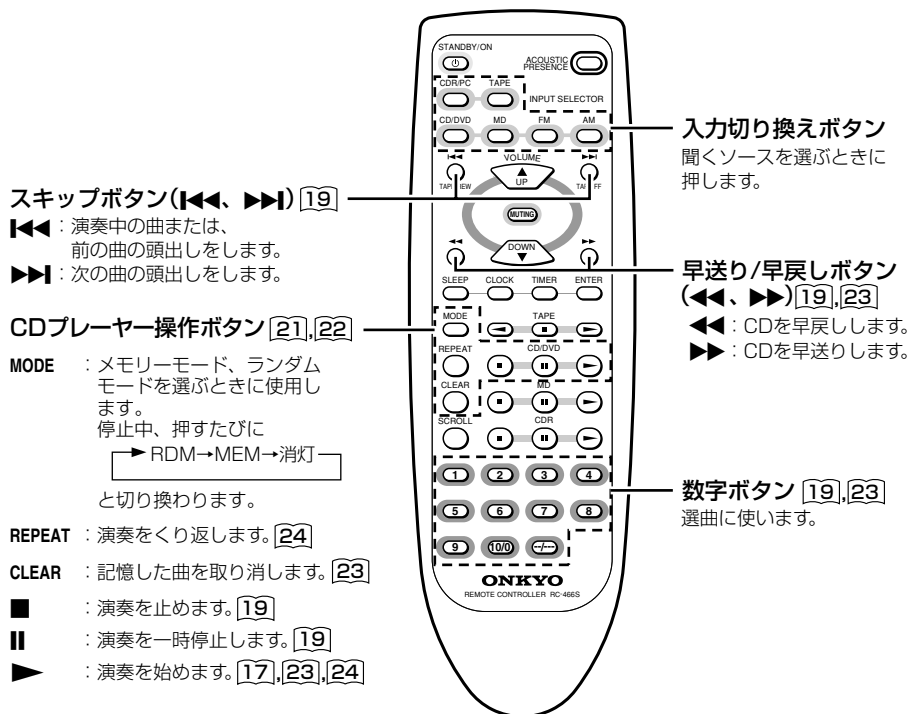
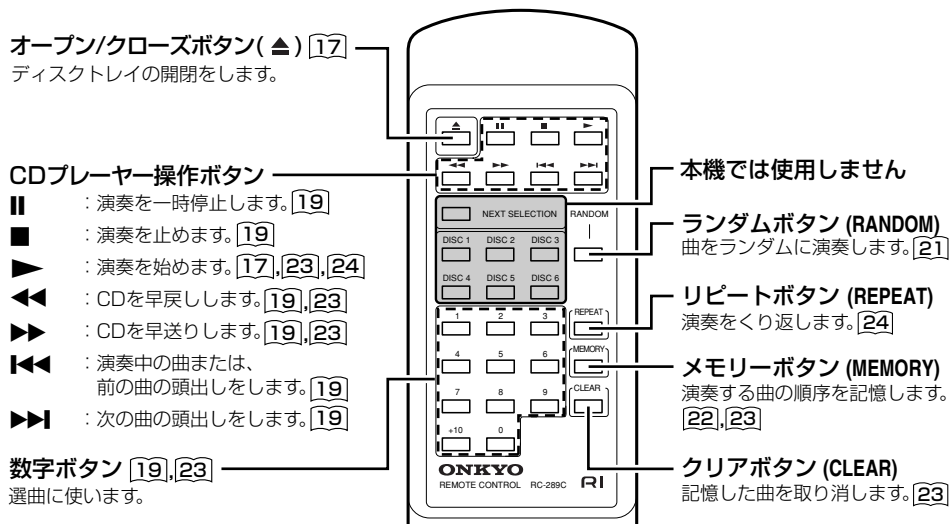
- 電池の極性（＋、－）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使い方

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因になります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

リモコンについて

R-801Aに付属のリモコン(RC-466S)

接続

■ INTEC155シリーズのR-801A（チューナーアンプ）、MD-101A（MDレコーダー）と接続する場合

システム接続のしかた
（INTEC155シリーズの接続）

R-801Aの取扱説明書「接続」の項をご覧ください。

INTEC155シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機の電源を入れると、R-801Aの電源が自動的に入ります。また、本機を使用しないときは、本機のみ電源を切ることができます。

ダイレクトチェンジ
本機を演奏させると、R-801Aの入力がCDに切り換わります。

リモコン操作
R-801Aに付属のリモコンで本機を操作することができます。

R-801Aの取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
タイマー演奏ができます。

R-801Aの取扱説明書のタイマー演奏の項をご覧ください。

CDシンクロ録音
MDレコーダーを録音待機状態にしておけば、本機のプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

CDダビング
本機からMDレコーダー、CDレコーダーへワンタッチでダビングできます。

トラック指定CDダビング
演奏トラックを指定して、本機からMDレコーダー、CDレコーダーへの録音をワンタッチで行えます。

DLA* LINK2機能
本機のピークサーチデータによって、MDレコーダー、CDレコーダーがデジタル録音レベルを自動設定します。

→ 詳しくはMD-101AまたはCDR-201Aの取扱説明書をご覧ください。

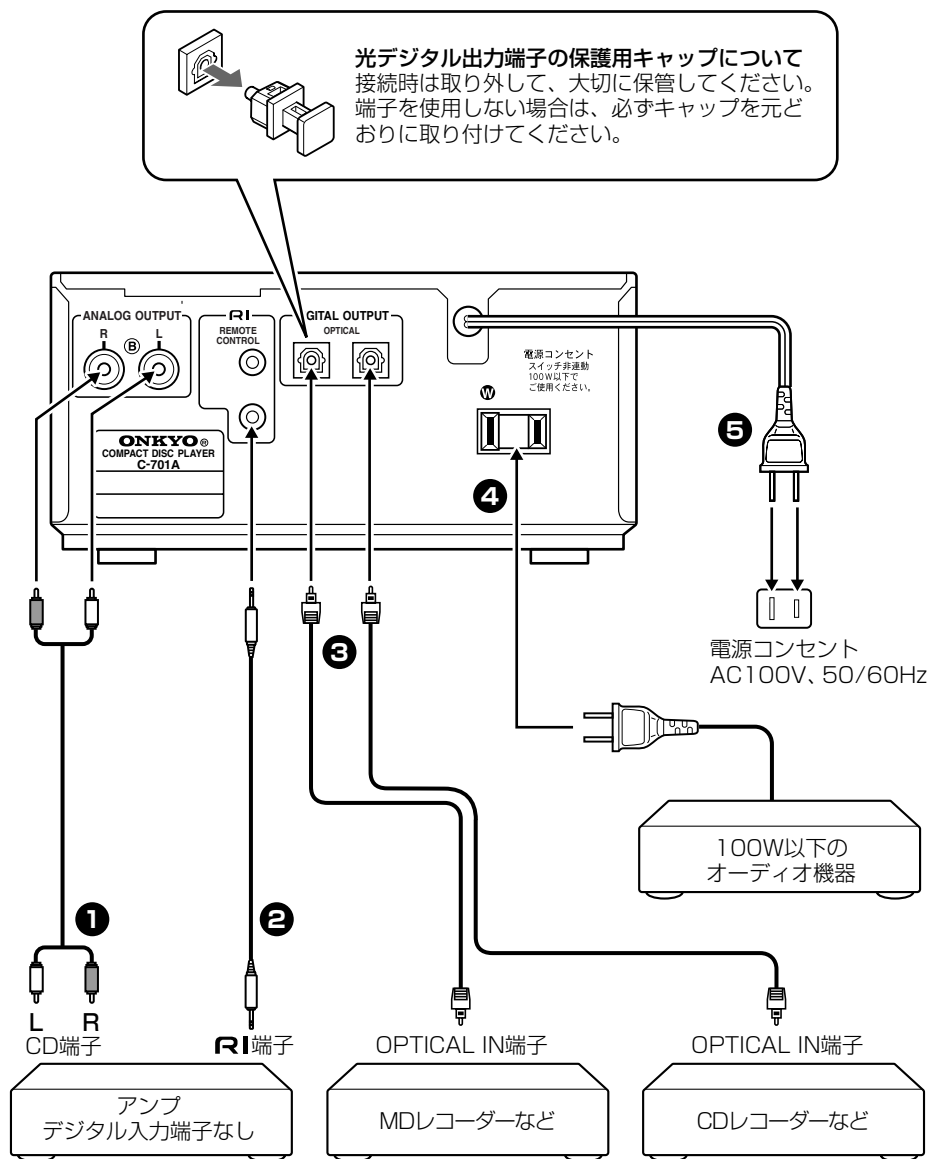
ご注意
製品の故障により、正常に録音できなかったことによって生じた損害については保証対象になりませんので、大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることをご確認の上、録音を行ってください。

* DLAは、Digital（デジタル） rec（レック） Level（レベル） Adjustment（アジャストメント）の略です。

ご注意
- 接続がまちがっていると各機能は働きません。R-801Aの取扱説明書の接続の項を参照しながら正しく、確実に接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- R-801Aの入力表示が“DVD”になっていると、CDのシステム操作はできません。入力表示を“CD”に変更してから操作をしてください。（詳しくはR-801Aの取扱説明書をご覧ください。）

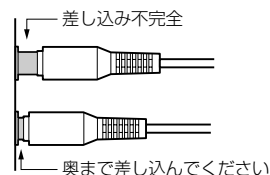
接続

■他の機器と接続する場合

すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

❶ アンプとの接続

アンプのCD端子に本機を接続してください。

- 付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付きピンコード）を使用し、赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。

他機 L端子へ...白　　白...本機 L端子へ
他機 R端子へ...赤　　赤...本機 R端子へ

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

❷ RIケーブルの接続

RI端子付きオンキヨー製品と、本機に付属のRIケーブルを使って、RI端子どうしを接続してください。

- RI端子は、RI端子付きオンキヨー製品と組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。故障の原因となります。
- RI端子の上下2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

❸ デジタル出力端子(DIGITAL OUTPUT)について

DIGITAL OUTPUT端子にMDレコーダー、CDレコーダー、DATなどのデジタル入力端子(OPTICAL)を別売のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続してください。デジタル録音をすることができます。
また、この端子は、デジタル入力端子付きのアンプとも接続できます。

ご注意

デジタル出力端子には、保護用キャップが取り付けられています。この端子に接続するときは、キャップを取り外してください。接続しないときは、キャップを必ずもとどおりに取り付けてください。

❹ 本機の電源コンセントについて

オーディオ機器の電源プラグを差し込むことができます。

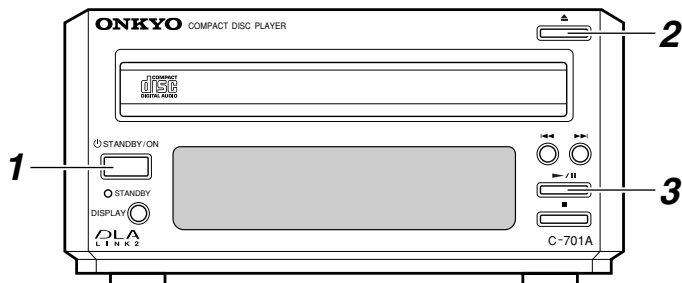
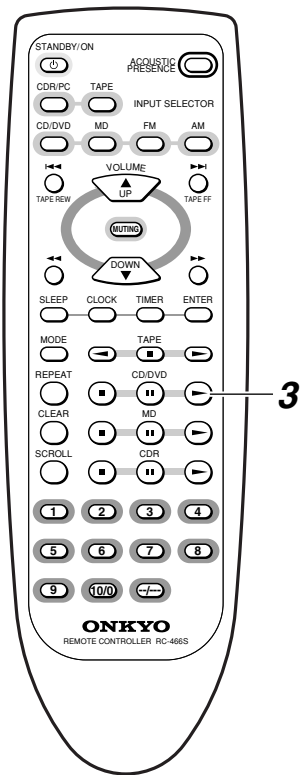
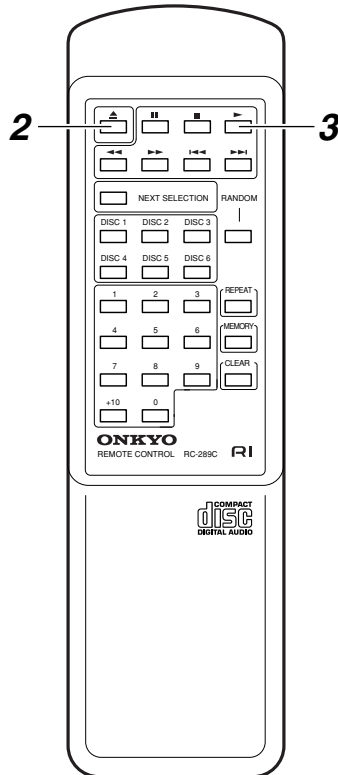
ご注意

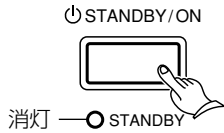
- 本機のスイッチ非連動コンセント（容量合計100W以下）は常時通電しています。**容量を超える機器は絶対に接続しないでください。**
- 溝の長いほう（Ⓦマーク側）が、電源コードの白線側と同じ極性となっています。

❺ 電源コードをつなぐ

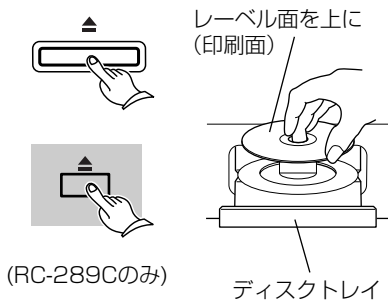
電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
“STANDBY”インジケーターが点灯します。

演奏する

■1曲目から演奏する（ノーマル演奏）

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

電源を入れる

電源ボタン(STANDBY/ON)を押します。
スタンバイインジケーター(STANDBY)が消灯します。

2

オープン／クローズボタン(▲)を押す

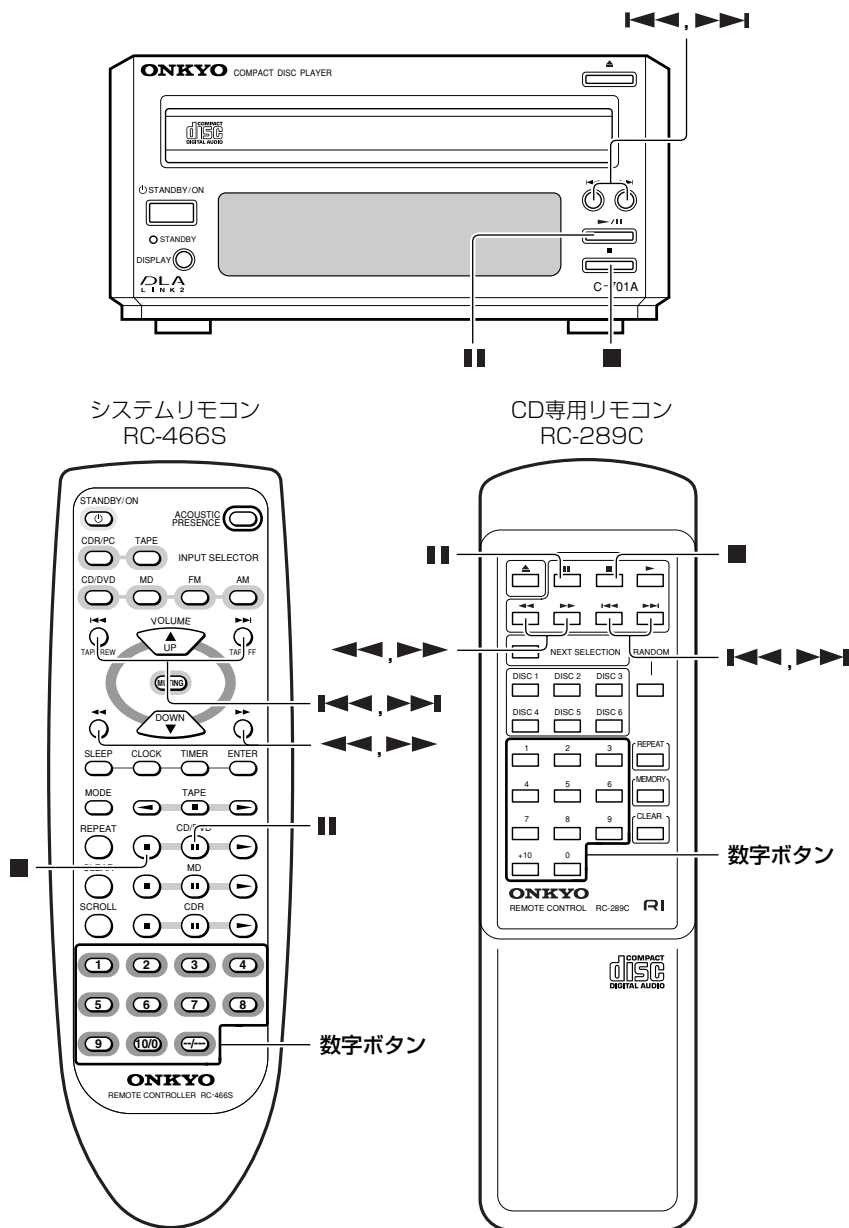
ディスクトレイが開きます。
ディスクはレーベル面（印刷面）を上にしてディスクトレイの中央部に置いてください。

3

演奏を始める

プレイ／ポーズボタン(▶/❚❚)を押すと“▶”表示が点灯し、ディスクトレイが自動的に閉まり１曲目から演奏が始まります。

- オープン／クローズボタン（▲）または、ディスクトレイの前面を軽く押してもトレイを閉めることができます。
- スタンバイ状態からプレイ／ポーズボタンを押すと、電源が入り再生を始めます。R-801Aとシステム接続している場合、R-801Aの電源も入ります。

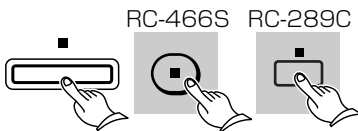
■1曲目から演奏する（ノーマル演奏）続き

リモコンのボタンは　　で表示しています。

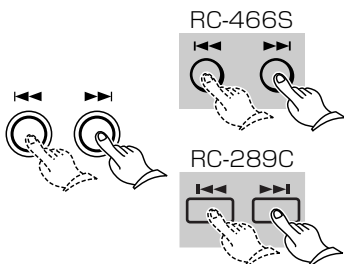
■演奏を一時停止にする

本機　リモコン RC-466S　リモコン RC-289C

演奏中にプレイ／ポーズボタン(▶/❚❚)を押すと、"❚❚"が点灯し演奏が一時停止します。
一時停止中に再度プレイ／ポーズボタンを押すと演奏を再開します。

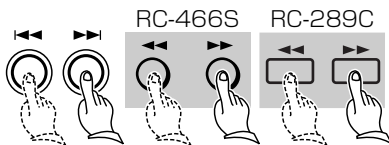
■演奏を中止する

RC-466S　RC-289C

演奏中にストップボタン(■)を押すと、演奏が停止します。

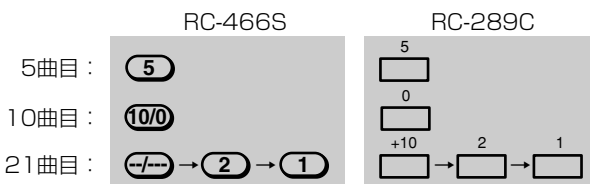
■聞きたい曲を選ぶ（スキップ）

早送り／早戻し,スキップボタン(⏮、⏭)を押すたびに前後の曲の頭出しをします。演奏中に押すと、頭出しした曲から演奏が始まります。

⏮: 演奏中に押すと、現在演奏中の曲の頭に戻ります。続けて2回押すと、前の曲の頭出しをします。

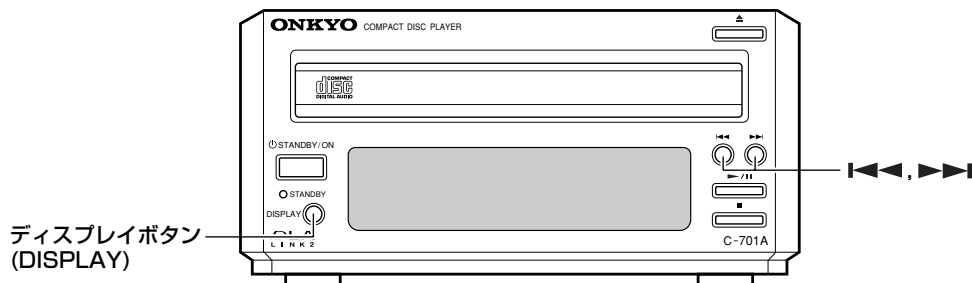
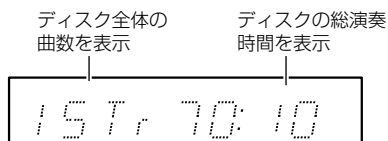
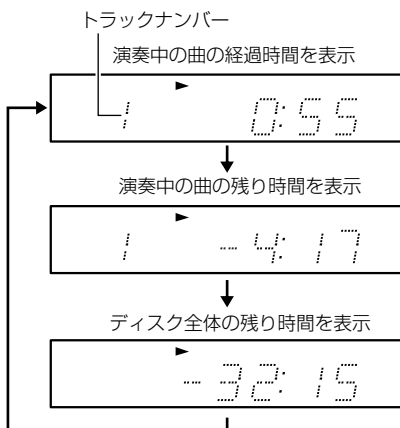
⏭: 押す度に次の曲の頭出しをします。

■演奏を早送り、早戻しする（サーチ）

演奏中に早送り／早戻し，スキップボタンを押し続けると、演奏が早戻し、または早送りします。

■聞きたい曲を選ぶ（リモコン）

	RC-466S	RC-289C
5曲目：	5	5
10曲目：	10/0	0
21曲目：	--/--- → 2 → 1	+10 → 2 → 1

R-801Aに付属のリモコン(RC-466S)、または、別売のCD専用リモコン(RC-289C)をお持ちの場合は、数字ボタンで聞きたい曲を選択することができます。選曲すると自動的に演奏を始めます。

■ディスプレイボタン

停止状態または演奏中に、ディスプレイボタン（DISPLAY）を押すたびに表示が切り換わります。

■各曲の演奏時間をチェックするには

停止状態で⏮または⏭ボタンを押すと、ディスクに納められている曲それぞれの演奏時間を表示させることができます。ただし、21曲目以降は“−−：−−”になります。

■演奏時間表示についてのご注意

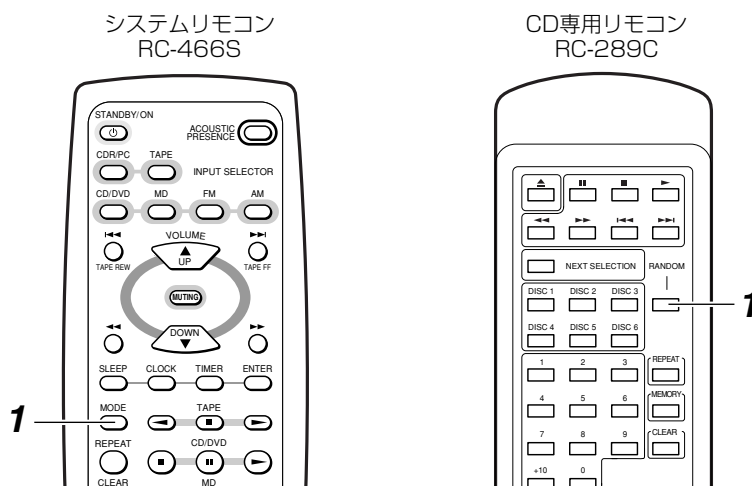
次のような場合、搭載メモリーの制約上、時間表示は“−−：−−”または“−−−：−−”になることがあります。

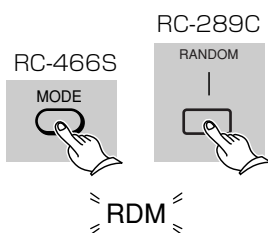
- ディスクの21曲目以降の曲で、その曲の残り時間表示にした場合
- ディスクの21曲目以降の曲を予約(メモリー)した時に、総残り時間表示にした場合
- 予約(メモリー)した曲の総演奏時間が99分59秒を超えた時に、総残り時間表示にした場合
- 21曲以上入っているディスクをランダム演奏中に、総残り時間表示にした場合

INTEC155シリーズのR-801Aに付属のリモコン(RC-466S)または、別売のCD専用リモコン(RC-289C)を使って、ランダム演奏、メモリー演奏、リピート演奏をすることができます。

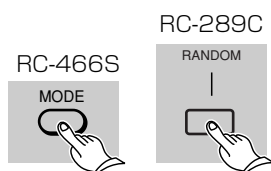
■順序不同に演奏する。(ランダム演奏)

ディスクに入っている曲を順序不同に並べ変えて演奏します。

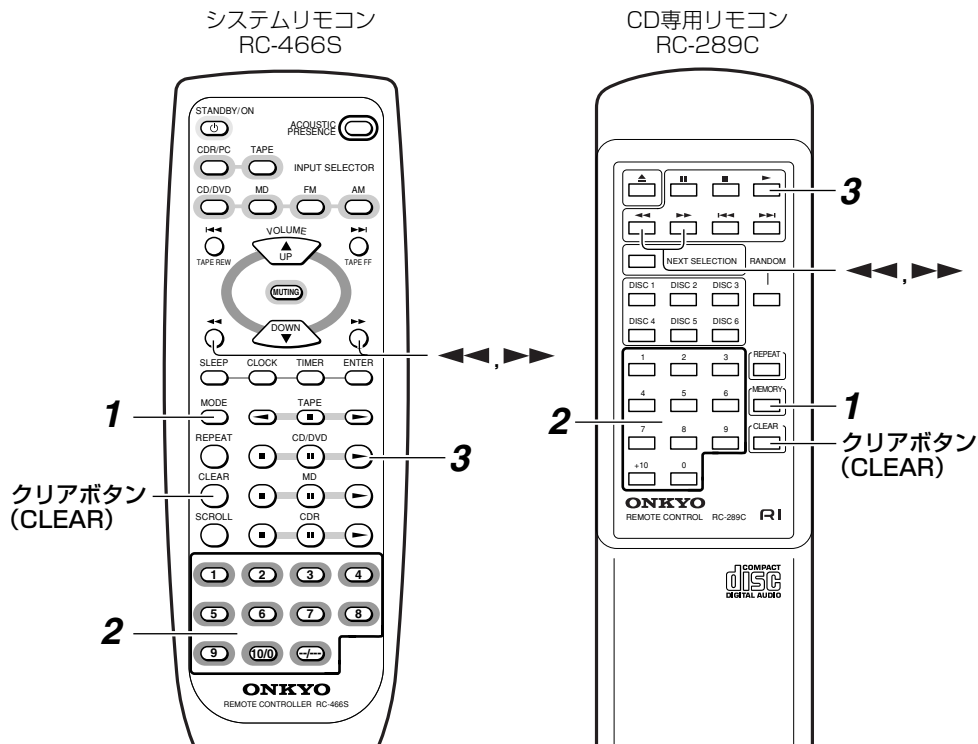
CD専用リモコン
RC-289C

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

ランダム演奏を始める

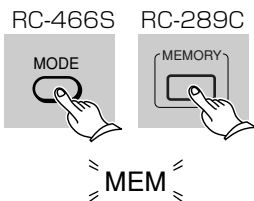
停止中に以下の操作をします。
リモコン(RC-466S)では、モードボタン(MODE)をくり返し押して"RDM"を表示させた後、プレイボタン(▶)を押します。
リモコン(RC-289C)では、ランダムボタン(RANDOM)を押して"RDM"を表示させた後にプレイボタン(▶)を押します。

■通常の演奏に戻すには

停止中に以下の操作をします。
リモコン(RC-466S)では、モードボタンをくり返し押して"RDM"表示を消します。
リモコン(RC-289C)では、もう一度ランダムボタンを押して、"RDM"表示を消します。
- オープン/クローズボタン(▲)を押してトレイを開けると解除されます。

■予約演奏する（メモリー演奏）

ディスク中の聞きたい曲を選び、聞きたい順に演奏します。
最大25曲までメモリーできます。26曲以上は“FULL”表示が出て、メモリーできません。

ご注意

予約は演奏停止中に行ってください。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

メモリーモードにする

停止中に以下の操作をします。
リモコン(RC-466S)では、モードボタン(MODE)をくり返し押して“MEM”表示を点灯させせます。
リモコン(RC-289C)では、メモリーボタン(MEMORY)を押して“MEM”を表示させせます。

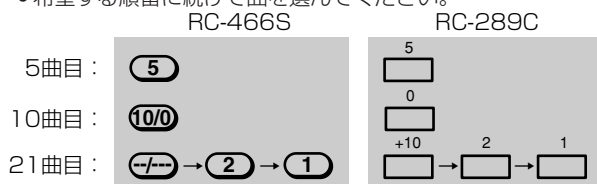
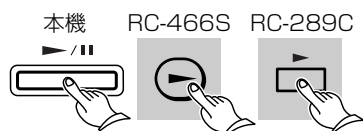
2 数字ボタンで聞きたい曲を選ぶ

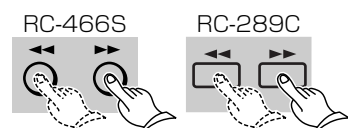
R-801Aに付属のリモコン(RC-466S)、または別売のCD専用リモコン(RC-289C)の数字ボタンで、聞きたい曲を選ぶことができます。

● 希望する順番に続けて曲を選んでください。

	RC-466S	RC-289C
5曲目：	5	5
10曲目：	10/0	0
21曲目：	--/--- → 2 → 1	+10 → 2 → 1

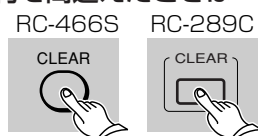
3 演奏を始める

本機　RC-466S　RC-289C

プレイボタン(▶)を押すと、予約順に演奏が始まります。

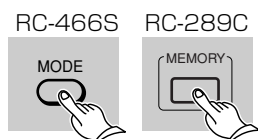
■予約の確認をするには

RC-466S　RC-289C

停止状態で、すべての予約を終了後、早送りボタン(▶▶)、または早戻しボタン(◀◀)を押すごとに、予約した順に曲番が表示部に表示されます。

■予約を間違えたときは

RC-466S　RC-289C

CLEAR

停止中にクリアーボタン(CLEAR)を押すごとに、最後に予約した曲から順に削除されます。

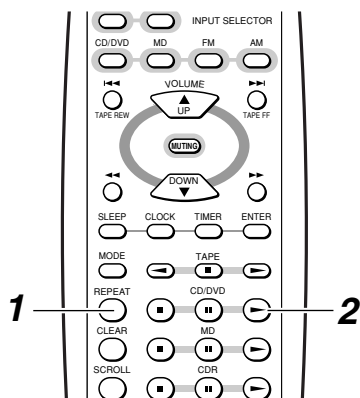
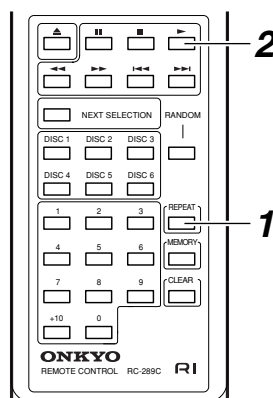
■通常の演奏に戻すには

RC-466S　RC-289C

停止中に以下の操作をします。
リモコン(RC-466S)では、モードボタン(MODE)を押して"MEM"表示を消します。
リモコン(RC-289C)では、もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押して"MEM"表示を消します。
予約した曲は、これにより全て消去されます。

● オープン／クローズボタン(▲)を押してトレイを開けると解除されます。

■くり返し演奏する（リピート演奏）

ディスク中の曲をくり返して演奏します。

システムリモコン
RC-466S

CD専用リモコン
RC-289C

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

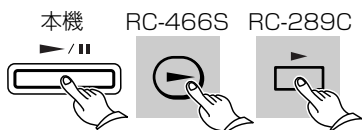
RC-466S　RC-289C

REPEAT

RPT

リピートボタン(REPEAT)を押す

停止中にリピートボタンを押すと、"RPT"表示が点灯します。

2

本機　RC-466S　RC-289C

演奏を始める

プレイボタン(▶)を押します。

● 演奏モードにより下表のようにくり返される曲が異なります。

演奏モード	くり返される曲
ノーマル演奏	全曲
メモリー演奏	メモリーされた曲がそのままの順序で演奏
ランダム演奏	ランダム演奏をくり返す

■通常の演奏に戻すには

RC-466S

もう一度リピートボタンを押して、"RPT"表示を消します。
また、オープン／クローズボタン(▲)を押してトレイを開けると解除されます。

故障？と思ったら

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（C-701A）」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	●電源プラグの差し込みが不完全になっている。	●電源プラグを電源コンセントに確実に差し込み直してください。（14〜15ページ参照）
ディスクを入れてプレイ／ポーズボタン（▶/⏸）を押したが、演奏しない。	●ディスクの裏表が逆になっている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●結露している。 ●正しく録音されていないCD-Rを使用している。（“No Disc”表示が出る。）	●ディスクのレーベル面（印刷面）を上にして入れ直してください。 ●ディスク表面をクリーニングしてください。（9ページ参照） ●本機を暖かい所に1〜2時間くらい置いてください。（9ページ参照） ●ディスクを取り替えてください。
音が出ない。	●接続コードの差し込みが不完全。	●確実に接続し直してください。（14〜15ページ参照）
音とびする。	●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに大きなキズがある。 ●本機に振動が加わっている。	●ディスク表面をクリーニングしてください。（9ページ参照） ●ディスクを取り替えてください。 ●振動のない場所に本機を移動してください。
選曲時間（指定の曲をさがし出す時間）が極端に長い。	●ディスクが汚れている。 ●ディスクにキズがある。	●ディスク表面をクリーニングしてください。（9ページ参照） ●ディスクを取り替えてください。
曲をメモリーさせることができない。	●ディスクが入っていない。 ●ディスクにない曲番をメモリーさせようとしている。	●ディスクを入れてください。 ●ディスクにある曲番をメモリーしてください。（22〜23ページ参照）
雑音が出る。	●テレビからの影響を受けている。	●テレビの電源スイッチを切る。 またはテレビから離してください。
リモコンで操作できない。	●電池が消耗している。 ●リモコン受光部と距離がありすぎる、角度が悪い。 ●リモコン受光部との間に障害物がある。 ●システム接続が不完全。	●電池を交換してください。（11ページ参照） ●リモコンはリモコン受光部との距離が約5m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ30°以内で操作可能です。（11ページ参照） ●リモコンの操作場所をずらすか、障害物をとり除いて操作してください。 ●確実に接続してください。（R-801Aの取扱説明書参照）
システムリモコンで操作できない。	●R-801Aの入力表示が“DVD”になっている。	●入力表示を“CD”に切り換えてください。（R-801Aの取扱説明書参照）

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約５秒後に改めて電源プラグを入れてください。

主な仕様

項目	仕様	項目	仕様
形式	光学式（コンパクトディスク方式）	SN比	93dB
DAコンバーター	1ビット方式	ワウフラッター	測定限界以下
周波数特性	5Hz～20kHz	出力	2.0V
高調波ひずみ率	0.009%（1kHz）	電源	AC100V 50/60Hz
チャンネルセパレーション	80dB（1kHz）	消費電力	7W
ダイナミックレンジ	92dB	外形寸法(幅×高さ×奥行)	155×76×277.5mm
		質量	2.0kg

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(C-701A)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　年　　月　　日
ご購入店名： ______________________
Tel.　　　(　　)
メモ：

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111(全国どこからでも市内料金で通話いただけます) または072-831-8111(携帯電話、PHSから)へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口　修理のご依頼は取扱説明書の「故障？と思ったら」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

茨城・栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308
〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3
ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13
共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-6502
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在　お客様相談窓口、修理窓口、オンキヨーサービス認定店の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。